



みんなの
すきとにがては
いっしょなのかな?

みんなとつなぎ ぼく・わたしとみんな

なまえ



すきなたべもの

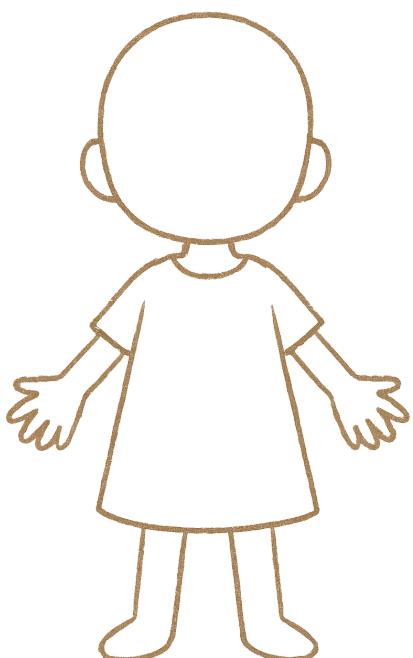
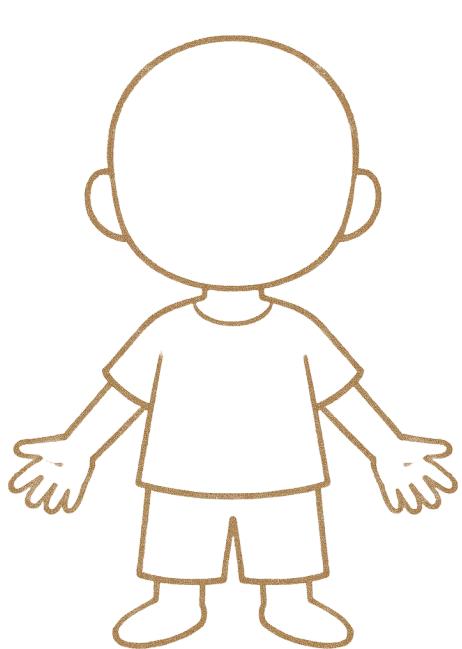
にがてなたべもの

とくいなこと

にがてなこと

すきなあそび

じぶんをかいてみんなとつなごう!



みんなの
すきとにがては
いつしょなのかな?

みんなとつなぎ ぼく・わたしとみんな

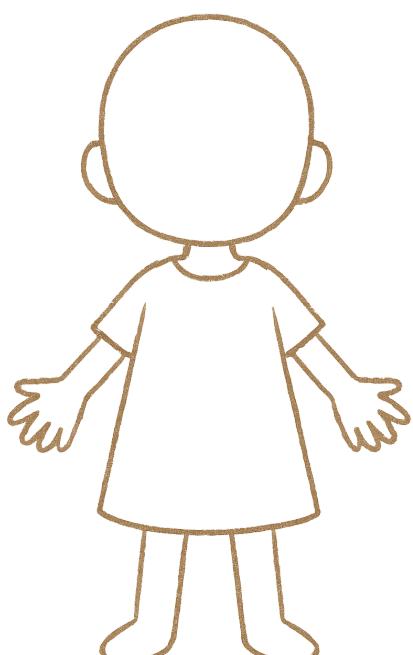
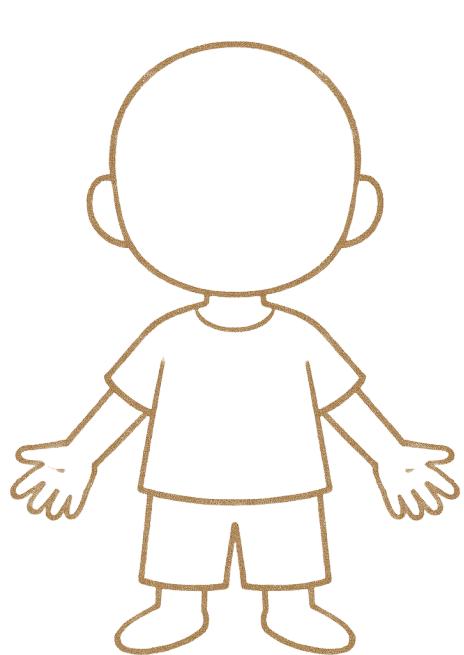


なまえ





じぶんを かいて みんなと つなごう !



みんなとつなぎ ぼく・わたしとみんな

SST提案書



※ねらい

・他己認識

→見た目では自分と違うということが理解できますが、中身が違うことを知るのは難しいため、発表の機会を設けることで他者という存在をまず理解する

・自己認識

→自分が何が得意で何が苦手なのか、好き嫌いを把握する

(自分のことを考えることが苦手な子がたくさんいます。まずはできるところからチャレンジしてね)

・個性がなにかを考えるきっかけづくり

→まだまだ理解するには難しいとは思いますが少しづつ、日々の積み重ねです💡自分が苦手なことが得意な人もいるということを知ってほしい。

一番は逆に自分にもできることがあるということを知って自信へと繋げるきっかけになれば幸いです



①導入で【せかいのたね】を読む

※気持ちの学習もしたい子は5ページ目で文章を隠して

「ロボットくんはどんな気持ちだとおもう？」

「それを見守るモンスターくんは？」 「みみんの気持ちはどう？」

「じゃあロボットくんはどうしたらいいのかな？」

など質問をしてあげてもいと思います。何回かに分けてやるのもおすすめです。

②プリントを記入

質問の白紙も用意しました。個々に合わせて使い分けてください。

記入時間は個々におこない、自分のことを考えることが苦手な子には、普段みていることの選択肢をだしてみてください。最初から「○○かいたら？」は考えるきっかけを奪ってしまうので×

実際に自画像を描いてみましょう。

ボディイメージができていない子は少し混乱すると思いますが、パートごとにチャレンジしてみてください。女の子がもちろんパンツスタイルを選んでも◎

③発表

順番に発表。指導員は紙にまとめるなどして、個々の違いが視覚的によくわかると振り返った時に楽しいですよ。

④実際に手つなぎマッチング！協力しても、個々のタイムを競っても◎

最後は必ず学んだこと、知ったことを聞きましょう。たくさん褒めてあげてくださいね！